







②



①



③



⑤

鷹見泉石像と  
古河ゆかりの文化財

国  
宝  
上  
宝



④

2021.1 / 9 (土) - 2 / 7 (日)

令和2年度は古河歴史博物館の創立30周年にあたります。そこで本年、東京国立博物館に収蔵される古河ゆかりの文化財の一部を公開することになりました。いずれ劣らぬ逸品たちは、わがまち古河の多様な歴史や文化を表現してくれるものばかり。

国宝「鷹見泉石像」は、昭和13年（1938年）、東京帝室博物館本館（東京国立博物館本館）こけら落としの目玉作品にと、古河から上野に迎えられたもので、およそ83年ぶりに古河へ帰りします。また、法華経を護る神である七面天女と日蓮聖人が邂逅する奇譚を描いた「七面大明神応現図」は、古河市内の妙光寺に伝来する葛飾北斎の自筆作品。同寺に滞りして描いたと伝えられ、現在は上野に寄託されています。

土井家のお姫さまが愛用した化粧道具一式や古河城から出土した板碑、洪水で洗われた土中に姿をみせた埴輪「大刀をもつ男子」など、見どころ満載の展示会へぜひお誘いあわせのうえご来館お願いいたします。

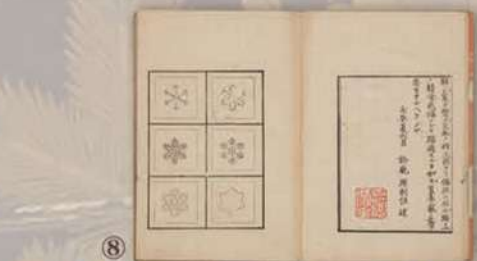


⑥

⑦

- ① 渡辺崋山「鷹見泉石像」天保8年（1837） 国宝
- ② 葛飾北斎「七面大明神応現図」弘化4年（1847）
- ③ 河鍋曉斎「花鳥園」明治14年（1881）
- ④ 若松棧時絵化粧道具 江戸時代・18世紀
- ⑤ 奥原晴湖「山水園」明治7年（1874）
- ⑥ 白猪空徳 江戸時代・19世紀
- ⑦ 茨城県古河市出土「埴輪 大刀をもつ男子」古墳時代・6世紀
- ⑧ 雪華園説 天保3年（1832）

①③～⑧ 東京国立博物館所蔵 ② 妙光寺所蔵  
両像提供 Image: TNM Image Archives



⑧



古河歴史博物館  
Koga City Museum of History

休館日 1月12日(火)、22日(金)  
入館料 大人400円 小中高校生100円 団体(20人以上)300円  
開館時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)

〒306-0033  
茨城県古河市中心町3丁目10-56  
電話0280-22-5211 fax0280-22-5215

◆新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来館の際には、マスクの着用、検温、手指の消毒等にご協力をお願いします。